希望の広場

南流山弐番街自治会　会報　Vol.126
平成 20 年 3 月 10 日発行

防災備品の整備について報告

防災備品スペース

『美しい弐番街』(55 号、平成 19 年 10 月)で 1 号棟 1 階のエレベーター乗り場の隣に防災スペースができたことが報告されました。

管理組合と自治会で協力して震災直後の救助などで必要となる下記の防災備品を購入し、防災スペースに収納しました。運用方法につきましては後日、連絡いたします。災害時に近隣の皆さんの救助などに利用してください。なお、今後も防災備品(例えば発電機など)の整備を図っていく計画です。

【防災備品リスト】

ジャッキ、バール、ハンドプーラー、ハンマー、かけや、つるはし*、スコップ*、ノコギリ、ファイアーマン・アックス、ナイフ、トラロープ、災害救急箱(医薬品)**、担架*、台車*、脚立兼ハシゴ、テント*、ビニールシート、ハンディマイク*、笛、トランシーバー、ラジオ(手回し発電式)、ヘルメット、懐中電灯*、ガムテープ、アルミ蒸着シート、腕章、軍手、ランタン

*:既に保有されたもの、あるいは追加購入品

**:集会所、管理人室に装備

AED の設備(案)について

「非医療従事者による AED の使用のあり方検討会報告書」(2004 年、厚生労働省)によれば、日本における病院外での心停止の発生件数は、年間 2 万～3 万件と推測されています。心臓突然死の主な原因に、心筋の動きがバラバラになり、心臓のポンプ機能が失われる心室細動があり、強い電気ショックを与えて心筋のけいれんを除去する電気的除細動が、最も効果的な方法だといわれています。この電気ショックを与える AED(Automated External Defibrillator、自動体外式除細動器)」が 2004 年 7 月から、救命のためであれば一般市民も使えるようになり、流山市の公共施設でも設備されるようになりました。

自治会では「もしも・・」のために、AED の設備を平成 20 年度の自治会総会で提案することを計画しています。

AED の例

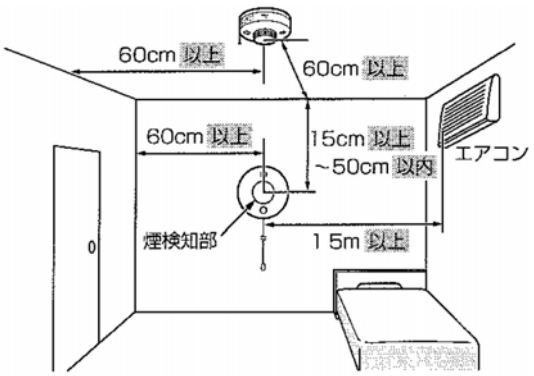
住宅用火災報知器について

消防法の改正と流山市条例によって平成20年6月1日までに南流山弐番街の住宅部も火災警報器の設置が義務化されたことが管理組合の『美しい弐番街』(53 号、平成 19 年 2 月)で広報されました。そして管理組合で火災警報器の集中購買や取付工事業者の案内がありました。

住宅用火災警報器（煙式）の設置が義務化された部屋は寝室の用に供す居室（「子供部屋」や日中は「居間」として使用しても夜間に就寝する部屋を含む）です。住宅用火災警報器の取り付けは居住者の責任で行なうものですので、取付けを終えてない方は、5 月 31 日までに対応してください。

家電量販店や DIY 店で購入できますが、下記のマークの付いているものを推奨します。取付けは図のように天井や壁にできますが、当マンションは和室を除いて天井がコンクリートにクロス直貼り仕上げのため、石膏ボードの壁面に掛具をつけて取り付けるのが楽です。

住宅用火災報知器（例）



住宅用火災報知器の設置位置

ガスコンロについて

【ガスコンロの安全な使用】

1. **キッチンでガスコンロを使う場合、換気が不十分な状態でガスを燃焼させると不完全燃焼となって一酸化炭素中毒になる恐れがありますので、換気扇を回してください。**
2. **ガスコンロのゴム管は、ガス栓の根元まできっちり差し込んでゴム管止めがされているのを確認してください。**
3. **経年などでひび割れや固くなったゴム管は交換してください。**
4. **料理でガスコンロを使っている間は、ガスコンロから離れないでください。**
5. **ガスコンロを使用中に地震が発生したら火を止めてください。なお、大きな地震の場合にあわててガス栓を締めようとすると体の自由がきかず、余計に危ない場合がありますので、この場合は地震の揺れが収まってから火を止めてください。**

コンロが原因となる火災は年 5,000 件発生し、そのうち 95%がガスコンロによるもので、調理中に火元から離れたり、消し忘れが原因の多くを占めるとのことです。キッチンのガスコンロを安全に使うために上記を参考にしてください。

2008 年 10 月より、全口安全センサー付きガスコンロの製造販売が法制化されます。安全機構として「調理油加熱防止装置」（鍋底の温度が約 250℃になると消火）、「立ち消え安全装置」（調理中に立ち消えたとき消火）などの機能が付加されています。ガスコンロを更新する際は「全口安全センサー付きガスコンロ」を示す PS マーク付きの製品を選んでください。

玄関外のメーターパネル内のガスメーターは「マイコンメーター」でガス使用中に震度5以上の地震が発生した時、ガスの供給圧が低下した時、ガス管が外れたり、使っていないガス元栓を開けてしまって不自然に大量のガスが流れた時に自動的にガスを止めます。作動した時にあわてないように取扱説明書に目を通しておきましょう。